

ごあいさつ

栃木県立黒羽高等学校長

半田 好男



黒羽高校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

本校は、県北東部の自然豊かな八溝山の麓に位置し、地元の熱い期待を担い昭和37年に設立され、今年度で創立60周年を迎えます。

「明るく 正しく たくましく」を校訓とし、以下3項目の教育目標のもと、教職員一同、生徒たちの輝きを喜びとし教育活動に取り組んでいます。

教育目標1「進んで学び 思考力を培う」

令和2年度から、3学級特例校となり、学校の魅力化・特色化を図るため、新たな取組みに挑戦しています。まず、単位制高校及びコミュニティ・スクールを導入し、地域や保護者等と連携しながら魅力ある学校づくりを目指してきました。この単位制は、生徒の興味・関心や進路希望に応じて科目を選択でき、進路に合った実のある学習ができます。また、生徒の困り感を把握し、通級指導を継続し、個の伸長を図っています。「黒羽高校の魅力」についての本校入学生へのアンケートでは、回答第1位は「授業が分かりやすい」でした。以前より実践してきた通級指導等の個に応じた指導・支援の成果であると思います。

また、自分の在り方生き方を考える学習として、黒羽こころみ学習(総合的な探究の時間)があり、「環境学習」「地域理解と異文化理解学習」「進路学習」のテーマに基づいて課題を探究し、思考力を高め、自己のあり方や生き方を考える授業を展開しています。

教育目標2「心身を鍛え 根気を養う」

ほとんどの生徒が部活動に入部しており、9部の運動部と7部の文化部が、仲間とともに切磋琢磨し、技術の向上と精神的な成長を目指して頑張っています。部活動は、年齢の異なる集団からなり、生涯にわたって生かすことのできるコミュニケーション力や努力し継続する力が身に付き、人間形成に大いに結び付いていると思います。

昨年度の活躍の一部を紹介すると、文化部では、演劇部が一昨年度に引き続き、栃木県高等学校総合文化祭演劇研究大会に出場しました。運動部では、相撲部が、インターハイや国体出場の常連校で全国的にも活躍しています。昨年度は、金沢大会団体3位と関東選抜相撲大会団体優勝という創設以来の快挙がありました。地元の生徒からなる小規模校の本校が、広く選手を集める強豪校を抑え、団体での成果を勝ち取ったことは、生徒の自信にもつながりました。

教育目標3「責任を重んじ 勤労を尊ぶ」

創立以来「一日一善委員会」など、特色ある活動を展開しています。また、学校内外のクリーン活動に全校生徒が年間を通して取り組むなど、地域との関係を大切にした奉仕活動や勤労活動も積極的に行っています。多様な活動の中で、自主性や責任感等、人間形成に努め、就職・進学へと未来へ羽ばたく準備を積み重ねています。

これまでも地域の皆様のご支援をいただき歩んでまいりましたが、さらに特色を生かし、皆様に信頼される学校づくりに努めてまいりますので、御支援・御指導をよろしくお願いいたします。